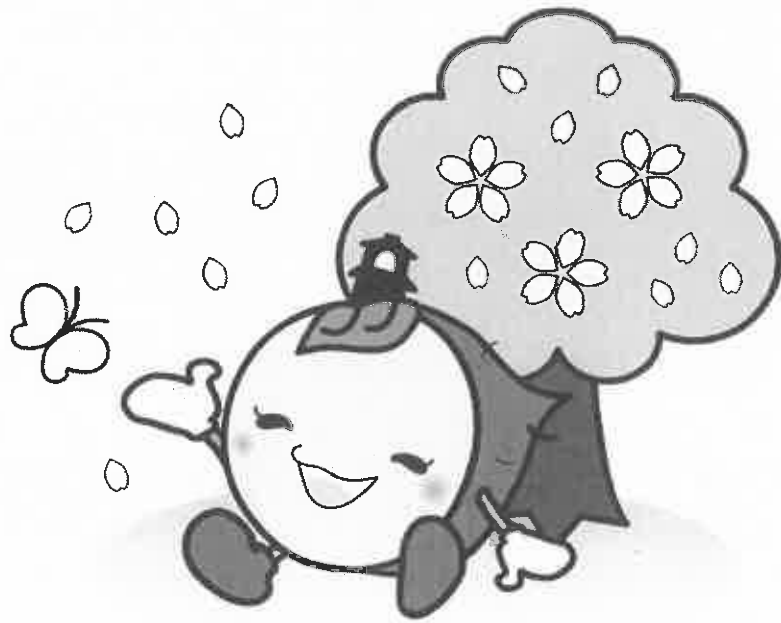


平成30年度

研究紀要

(通巻第36号)



川越市マスコットキャラクター ときも

川越市教育委員会

あいさつ

川越市教育委員会教育長

新 保 正 俊

川越市教育委員会では、今年度の「情報教育推進委員会」、「小学校外国語活動研究委員会」の2つの委員会の研究成果を「研究紀要第36号」として刊行いたしました。本市学校教育の充実発展のため、調査・研究に御協力くださいました各委員会の委員長である校長先生をはじめ、委員の先生方の御尽力に感謝申し上げます。

さて、少子高齢化やグローバル化、さらなる技術革新の進展など、学校教育を取り巻く社会情勢は大きく変化しております。2020年度からの新学習指導要領の実施を円滑に行うとともに、未来の川越を担う子どもたちが生き抜く力をつけるための教育を推進していくことが求められています。

こうした中、川越市教育委員会では、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念とした第二次川越市教育振興基本計画の実現に向けて、自らの職責を自覚し、時代の変化に対応した教育のために学び続けるとともに、情熱と愛情をもち、教育の不易と流行を確実に身に付けた教職員の育成に力を注いでおります。そのために、教育センターを中心として研修の体系化を図るとともに、時代のニーズに合った研修を推進し、教職員の資質の向上に努めております。

本冊子は、各委員会の調査・研究、授業実践の成果と課題をまとめたものです。本市の実態を調査・分析・考察して得られた、指導方法の工夫・改善を図るための取組を掲載いたしました。

各学校におかれましても、自校の学校課題に適切に対応し、特色ある学校の創造を目指し、次代を担う子どもたちの「生きる力」の育成に鋭意努力をしていただいているところでございます。今後も、これらの研究成果を積極的に活用し、日々の教育活動の充実・改善に役立てていただくことを御期待申し上げ、あいさつといたします。

情報教育推進委員会

I 研究の概要

1 目的

市立小・中学校における情報教育の一層の推進を目指し、児童生徒の学力向上や情報活用能力の育成を図ることを目的とし、教育の情報化についての課題解決に向けた実践研究を行う。

2 研究テーマ

「授業における情報機器を活用した指導力の向上について」

3 研究方針

教職員が、授業の中でICT機器の積極的な活用を図るため、検証授業を通して効果的な活用方法について考察するとともに、学習における活用場面について川越市内に広める。

4 研究について

川越市情報教育の現状と課題を踏まえ、ICT機器（プロジェクタ、デジタル教科書、実物投影機）の活用促進を図っている。また、新たなICT機器の導入を推進する上で、教室内LANの整備やタブレット型コンピュータを効果的に活用することで、「より分かりやすい授業」「個々の能力や特性に応じた主体的な学び」「児童生徒同士が教え合い学び合う協働的な学び」等多様な学びが可能となる。また、画像や動画を活用した分かりやすい授業を展開することにより、児童生徒の興味・関心を高め、学習に対する意欲の向上が期待できる。新しい学習指導要領ではプログラミング教育が取り上げられており、「プログラミング的思考」を育むことが求められている。

今年度の研究方針として、ICT機器を学習ツールの一つとして効果的に活用できるような学習場面や、ICT機器を活用し、分かりやすい授業を展開することにより、児童生徒の興味関心を高め、思考力・判断力・表現力等の向上について研究する。また、教科におけるプログラミング教育の実践について研究を行う。

5 研究実績

| 期 日 ・ 場 所 | 主 な 内 容 |
|------------------------------|--|
| 平成30年10月 5日（金） 川越市立教育センター | 依頼書交付 川越市情報教育の現状と課題 今年度の研究方針と今後の予定 |
| 平成30年12月14日（金） 川越市立教育センター | 研究紀要の内容検討 各担当の実践の共有 |
| 平成31年 2月 8日（金） 川越市立新宿小学校 | 教科における「プログラミング教育」に係る実証授業 |

II 研究の取組

1 教科における「プログラミング教育」に係る実証授業

第6学年1組 理科学習指導案

日 時 平成31年2月8日（金）第5校時

場 所 第2理科室

1 題材名

発電と電気の利用

2 児童の実態および指導観

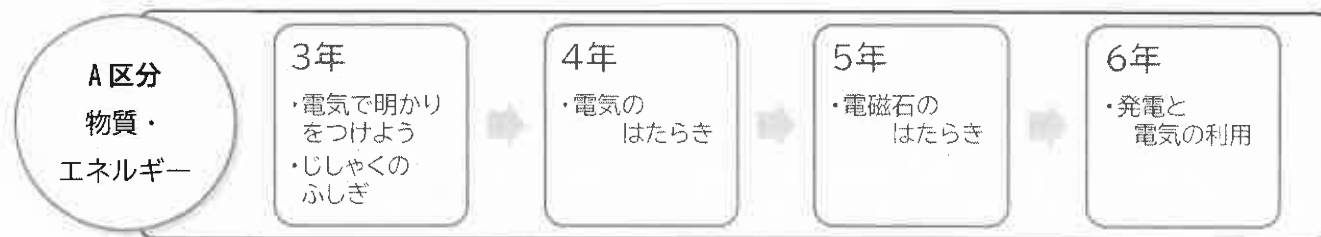
本学級の児童は、理科の実験や観察に対して意欲的に取り組むことができる児童が多い。しかし、教師が提示した問題の解決には意欲的であるが、自分自身が問題を見つけ、実験方法を考案するという力は十分に育っているとは言いがたい。そこで、自ら課題を見つけ、進んで自然に働きかけ、知りたいことや疑問に思ったことを積極的に調べる力を伸ばしていきたい。

プログラミング教材との関わりでは、児童は Hour of Code や Scratch といった教材に取り組んでいる。micro:bit に関しては、コンピュータクラブの児童が取り組んでいるため、なじみがある。

3 教材観

本単元では、手回し発電機やコンデンサーなどを用いて、電気が作り出せることや蓄えることができることについて学習する。電気は日頃から身近であるが、意識して使う機会は少ない。また、自分たちで発電する経験も今までに無いと思われる。身の回りには、電気を様々な姿に変えて活用する様々な道具・製品があることに気づいたり、電気の効率的な利用について考えたりできるようにしたい。

4 本単元の位置づけ



5 単元の目標

電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気を様々な器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変えることができるという考えをもつことができるようにする。そのとき、電熱線の太さを変えると発熱の大きさが変わることをとらえるようにする。また、身の回りには電気をつくり出したり蓄えたり、光、音、熱などに変える様々な道具があることを知るとともに、電気の効率的な利用についてとらえるようにする。

6 単元の評価計画

| ア 自然事象への関心・意欲・態度 | イ 科学的な思考・表現 | ウ 観察・実験の技能 | エ 自然事象についての知識・理解 |
|--|---|---|---|
| <p>① 興味をもって発電を体験し、その電気を利用しようとしている。</p> <p>② 電気の性質やはたらきを適用して物作りをしたり、日常生活に使われている電気を利用した道具を見直したりしようとしている。</p> | <p>① 乾電池と比べながら、手回し発電機のはたらきについて推論し、自分の考えを表現している。</p> <p>② 実験の結果から、手回し発電機のハンドルの回し方によって電流の向きや強さが変わることが考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>③ 発光ダイオードは豆電球に比べ、少しの電気で長い間明かりをつけられると考察し、自分の考えを表現している。</p> | <p>① 太さの違う電熱線や電源装置を使って、発熱の違いを安全に配慮して調べている。</p> <p>② コンデンサーのはたらきを調べ、結果を記録している。</p> | <p>① 電気はつくり出したり蓄えたりでき、光や音などに変えることができることを理解している。</p> <p>② 電熱線の発熱は、電熱線の太さによって変わることが理解している。</p> <p>③ 身の回りには、電気の性質やはたらきを利用した道具があることを理解している。</p> |

7 単元の指導計画 (12 時間扱い)

| 次 | 時 | 指導計画 | 評価規準 |
|------|------------|--------------------------------|-------------------------|
| 単元導入 | 1 | 発電と電気の利用 | 関心・意欲・態度① |
| 第1次 | 2・3・4 | 手回し発電機で発電しよう | 思考・表現① 技能② 思考・表現② |
| 第2次 | 5・6・7 | 電気をたくわえて使おう | 技能② 知識・理解① 思考・表現③ |
| 第3次 | 8・9 | 電流による発熱 | 技能① 知識・理解② |
| 第4次 | 10 | 電気の変かんと利用 | 知識・理解③ |
| まとめ | 11 | まとめ | 関心・意欲・態度② |
| まとめ | 12 (本時) | 私たちの身の回りには、電気を効率的に使う道具について考えよう | |

8 プログラミング教育との関連

本単元では主に、プログラミング教育のねらいの「知識及び技能」にある、「②身近な生活でコンピュータが活用されていることや問題の解決には必要な手順があることに気づくこと」について深めることをねらいとしている。その他にも、実際にコンピュータを活用しながらプログラミングを行うことで、電気を効率よく使うための工夫を試行錯誤しながら、プログラミング的思考が育まれることをねらいとする。

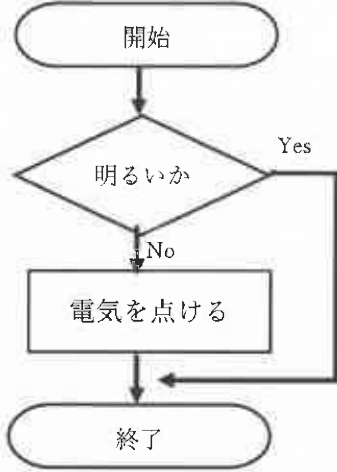

9 本時の学習指導

(1) 目標

身の回りにある電気を効率的に使う道具について、プログラミングをしながら再現をしたり、それらを見直したりしようとする。(関心・意欲・態度)

(2) 展開

| 学習活動 | ・主な発問 (T) ・予想される児童の活動 (C) | ○留意点 | 時間 |
|---|--|---|----|
| 1 前時までの内容を確認する。 | T 電気はつくり出したり、蓄えたりすることができましたね。 T その電気を無駄なく使うために、センサーを使っている道具があります。どんな道具でしょうか。 C 街灯、センサーライト、… | ○数多く挙げさせる。 | 2 |
| 2 本時の課題を知る。 | T しかし、こちらには、電気を効率的に使っていない道具があります。 ● トイレの電気が点いたままになっている ● 街灯が点いたままになっている ● コンビニの入店音が鳴り続けている ● 動く歩道が誰もいないのに動いている ● 暑くもないのに扇風機が回っている T 今日このような電気の無駄遣いを、センサーを活用したプログラムを作ることで、解決してみましょう。 | ○カードにして、黒板に貼ることで、共通理解を図る。 | 3 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 課 身の回りの電気を効率的に使う道具の仕組みを、センサーを活用した簡単なプログラムで再現しよう。 </div> | | | |
| 3 計画を立てる。 | 解決したい課題を選び、組み合わせるセンサーと動きを考える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> もし <センサーによる入力> なら、 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block; margin: 2px 0;"><動き></div> する。 </div> | ○語群を用意しておく。 (例) 暑い/寒い 明るい/暗い 人感センサーが反応する/しない 電気をつける/消す モーターを動かす/止める ○○を動かす/止める | 10 |

| | | | |
|--|--|--|----|
| | <p>自動で点灯する街灯のフローチャート例</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> Check{明るいか} Check -- No --> TurnOn[電気を点ける] TurnOn --> End([終了]) Check -- Yes --> Check </pre> | <p>○micro:bit はセンサーの入力を処理し、スイッチを動作させる役割をすることをおさえさせる。</p> <p>○可能であればフローチャートを書かせる。</p> <p>○実際に micro:bit とスイッチを使った回路を作成し、動作するか確かめさせる。</p> <p>○回路には必ずコンデンサーを合わせる。</p> | 15 |
| 4 プログラミングをする。 | <p>自動で点灯する街灯のプログラミング例</p>  | | |
| <p>評価 プログラムを作成し、試行錯誤している場面 <具体の評価規準> ・身の回りにある電気を効率的に使う道具について、プログラミングをしながら再現をしたり、それらを見直したりしようとしている。 <努力を要する児童への手立て> ・計画に立ち戻らせると共に、センサーやスイッチの使い方についてのヒントカードを渡す。</p> | | | |
| 5 自由に見回り、出来上がった作品を見せ合う。 | | <p>○班で2人が残り、説明を行う。 残りの2人は他のグループで説明を聞いてくる。</p> <p>○前後半で交代する。</p> | 10 |
| 6 学習のまとめをする。 | <p>身の回りには、センサーとプログラムによって、電気を効率的に使うよう工夫された道具がたくさんある。</p> | | 5 |
| 7 学習の振り返りをする。 | | ○自分の言葉で振り返りを書かせる。 | |

10 使用する機器

- micro:bit 班に2台ずつ 16台
- タブレット PC 班に2台ずつ 16台
- 無線 LAN アクセスポイント
- 提示用 PC、プロジェクター
- micro:bit 用 電磁リレー 8台
- micro:bit 用 理科実験ボード（人感センサー付き） 8台
- 児童それぞれが持っている単元の実験用キット（コンデンサー、手回し発電機）
- ワニ口クリップ



| | |
|--------|--|
| 本時のねらい | 「横画」と「左はらい」の筆順と点画の接し方に気をつけて、字形を整えて書くことができる |
|--------|--|

【本時の展開】

| | |
|----------|---------------|
| 使用する情報機器 | プロジェクター、書画カメラ |
|----------|---------------|

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 指導のポイント (情報機器活用場面) |
|-----------------|---|--|
| 学習課題をつかむ | 本時の学習内容を聞き、学習課題をつかむ | |
| 「成長」を試書する | 「成長」の書き順を確認する。 | |
| お手本と比較する | 試書とお手本を比較して気付いたことを話し合う。 | 書画カメラで教師の手元を撮影し、先に書いた画に次の画が接すると、字形が整うことに気付かせる。 |
| 筆順と点画に気をつけて練習する | かご文字の練習用紙を活用して、筆順と点画の接し方を理解する。 | 点画の接し方を示した動画をリピートで再生し、いつでも確認できるようにする。 |
| まとめ書きをする | 試書と比べて点画の接し方に焦点化し、自己評価する。隣同士でも互いに評価し合う。 | |

【情報活用のポイント】

| | |
|---|--|
|  | <p>書画カメラで教師の手元を撮影し、先に書いた画に次の画が接すると、字形が整うことに気付かせる</p> <p>画像の表示・手元の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 画が接する部分を拡大表示することで、どの程度接しているのかを共通で理解させる。 画に接する際、始筆はどこからなのかを拡大して提示する。 書画カメラの画面固定機能を使用することで、ポイントをしばって指導する。 |
|  | <p>点画の接し方を示した動画を流し、いつでも確認できるようにする</p> <p>動画の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 模範動画をループ再生し、それぞれの課題となる部分を児童自ら確認することができるようにする。 書写の教科書の DVD の機能として、2 種類の動画を同時に再生することができ、穂先の動きと全体の動きを見ることができる。 |

| | |
|--------------------------|--|
| <p>授業の実際 (成果と課題)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○書画カメラで手元を拡大して表示することで、実際の手元に近い筆の動きを学級全体で確認することができた。 ○教師用の教科書の DVD に収録されている動画を繰り返し再生を行うことで、児童が各自のタイミングで確認できる。 ▲手元を撮影する際には穂先が見えるように少し筆を倒す等の慣れが必要である。 ▲プロジェクタは横長に投影されるため、半紙全体を映すとスクリーンに対して小さくなってしまう。 |
|--------------------------|--|



| | |
|--------|---|
| 本時のねらい | 冬の動植物の様子を観察したり、冬の自然を体全体で感じたりして、関心をもって冬と関わる中で、夏や秋の頃と様子が変わっていることに気づくことができる。 |
|--------|---|

【本時の展開】

| | |
|----------|------------------------|
| 使用する情報機器 | コンピューター、タブレット PC、テレタッチ |
|----------|------------------------|

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 指導のポイント (情報機器活用場面) |
|-------------|---------------------------|--|
| 1 学習課題をつかむ | 本時の課題を確認する。 | |
| 2 冬を探す | 校舎や校庭を探検し、冬を見つけ写真を撮る。 | タブレット PC のカメラ機能 (ピクチャーキッズ) を使い、冬を感じる物の写真を撮る。 |
| 3 写真をまとめる | 撮った写真にコメントを書くなど、発表の準備をする。 | ピクチャーキッズを使い、写真にコメント等を書き込む。 |
| 4 発表をする | ピクチャーキッズ、テレタッチ使い、発表をする。 | ピクチャーキッズの発表機能を使い、発表を行う。テレタッチを使用することで全体に見やすくする。 |
| 5 学習のまとめをする | 発表を全体でまとめ、共有し、学習のまとめをする。 | |

【情報活用のポイント】

| | |
|---|---|
|  | <p>① ふゆさがしを行うとき、タブレット PC のカメラ (ピクチャーキッズ) を使い、写真を撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段は、「わくわくニュース」に絵を描くことをしているが、タブレット PC で写真を撮影することで、絵の代わりにすることができる。 ・ピクチャーキッズの発表機能にあるカメラを使用したため、複雑な操作なしに使用することができる。 ・1人1台で活動したため、自由にタブレットを使用することができ、のびのびと活動できた。 |
|  | <p>② 発表は、拡大して表示できるように、テレタッチを使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーキッズの発表機能を使用した。 ・いつもとは違う発表に児童はみな興味津々だった。 ・操作は、画面にタッチするだけで簡単なため、全員すぐにできた。 ・発表する前にファイルに保存する必要があるため、説明、操作に少し時間がかかってしまった。 ・自分で撮った写真を見ながら発表できたため、思いを伝えやすい。 |

| | |
|------------------|---|
| 授業の実際 (成果と課題) | <p>○成果 ▲課題</p> <p>○普段使わないタブレットを使うことで、学習意欲が増した。</p> <p>○絵ではなく、写真で発表をしたため、自分の思いが伝わりやすかった。</p> <p>▲低学年での使用だったため、タブレットやコンピューター、ソフトの操作を教え、使いこなすまで時間がかかった。</p> <p>▲めあての確認や機器の使い方の事前指導などを、しっかりと行わないと、写真を撮るのに夢中になってしまい、あまり冬と関係のない写真が増えてしまう。</p> |
|------------------|---|


| | |
|--------|-------------------|
| 本時のねらい | 回路全体の消費電力の関係を考える。 |
|--------|-------------------|

【本時の展開】

| | |
|----------|-------------------------------|
| 使用する情報機器 | プロジェクター、実物投影機、コンピューター、デジタル教科書 |
|----------|-------------------------------|

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 指導のポイント (情報機器活用場面) |
|-----------------------|---|--|
| 1 前時までの復習 | 直列回路、並列回路それぞれの電流、電圧の大きさの関係を振り返る。 | デジタル教科書にある、それぞれの関係式をプロジェクターで提示する。 |
| 2 3, 4人のグループで課題に取り組む。 | 課題「テーブルタップに電球を2つ接続した回路全体の消費電力には、どのような関係があるだろうか。説明しなさい。」 この課題について、3, 4人のグループで話し合っ、各自のプリントにまとめる。 | 実物投影機を使用し、生徒に配布したプリントをプロジェクターで提示する。 |
| 3 全体で結果を共有する。 | 班の代表者が、自分たちの班で解いた課題プリントを持ち、実物投影機を使って、どのように解いたかを発表する。 | 実物投影機を使用し、生徒が解いたプリントをプロジェクターで提示し、移した画像を指差す等をしなから説明させる。 |
| 4 学習のまとめ | 教師が回路全体の消費電力の関係を黒板にまとめる。 | 実物投影機を使用し、模範解答をプロジェクターにて提示する。 |

【情報活用のポイント】

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクターは、光の明るさの量が多いもの（リースの短焦点プロジェクターよりもルーメンの値が多いもの）を使用すると、スクリーンを使用しなくても、黒板に直接投影して難なく文字を読み取ることができます。黒板に直接投影すると、チョークで上から文字を書くことが可能です。 ・ 実物投影機でプリントを写す際は、事前に教師が、全く同じプリント等を使い、投影範囲を明示しておく、その範囲に子どもがプリントを置くだけで、ピント調節等をする必要がなく、投影することができます。 | <p>実物投影機を使用し、自分の書いたプリントを使って説明する様子。</p>  |
|--|---|

| | |
|--------------------------|---|
| <p>授業の実際 (成果と課題)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のプリントを使いながら生徒が説明することで、説明がしやすくなった。 ○ 説明させる中で、どのように考えたのか、思考の手順を把握できた。 ○ 生徒が図を使って説明することができた。 ▲ 実物投影機を運ぶのが大きくて大変だった。 ▲ 文字が小さい生徒もいたので、もう少し画面のサイズを大きくすればよかった。 ▲ カラーで提示できるので、説明に色ペン等を使わせてもよかった。 |
|--------------------------|---|

| | |
|--------|--|
| 本時のねらい | スクラッチをつかい、目的や条件に合ったプログラムを工夫して作成し、プログラム学習を通して論理的思考力・創造力を育む。 |
|--------|--|


【本時の展開】


| | |
|----------|-----------------------|
| 使用する情報機器 | コンピュータ、スクラッチ（デスクトップ版） |
|----------|-----------------------|

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 指導のポイント (情報機器活用場面) |
|------------|---|------------------------------------|
| 1 導入 | パワーポイントを用いて、事前アンケートの結果を生徒に見せる。 | PC 室のスクリーンで生徒に一斉配信し確実に見せる。 |
| 2 スクラッチの説明 | 生徒に操作方法を説明する。 | 事前に生徒 PC 1 台ずつ時間短縮のため、ソフトを起動させておく。 |
| 3 課題の提示 | (1) スクラッチ(キャラクター)を画面上で3往復させる。 (2) スクラッチ(キャラクター)を様々な方法で躍らせる | 必要に応じて巨大スクリーンにヒントを提示する。 |
| 4 発表 | 作品ができた生徒の画面を生徒全員に見せ、様々な方法があることを知る。 | 生徒の画面を一斉配信する。 |
| 5 まとめ | 自己評価を記入し、反省を記入する。 | |

【情報活用のポイント】

- ・ 共用サーバのソフトだと動きが重くなるのでパソコン1台、1台にソフトがあるとよい。
- ・ 50 分の授業に課題が二つだと生徒の考える時間が限られるので、説明は必要最低限にし、生徒が取り組む時間を多く取りたい。
- ・ ヒントは段階に分けて3・4パターン提示すると考えやすい。左右に動かす、反転させる、ジャンプさせるなど。





| | |
|------------------|---|
| 授業の実際 (成果と課題) | <p>○まとめの自己評価を通して、論理的思考や創造性を意識できた生徒が多くいた。</p> <p>○事前準備がスムーズにでき、課題2まで取り組ませることができた。</p> <p>▲考えられる生徒はどんどん考えられるが、全くできない生徒もいた。できない生徒はヒントを見た1パターンしか作成できなかった。また、解けない子に質問を受けると、個別指導となり時間がかかり全体を時間通り進行できなかった。できなかった子にどのように取り組ませるかが課題。</p> |
|------------------|---|


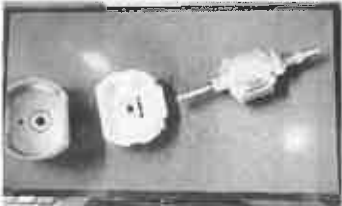
| | |
|---------|----------------------------------|
| 本単元のねらい | 電流が磁界から力を受けることをモーターの分解から見だし考察する。 |
|---------|----------------------------------|

【本単元の展開】

| | |
|-----------|-------|
| 使用する情報機器等 | 実物投影機 |
|-----------|-------|

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 指導のポイント (情報機器活用場面) |
|-------|--|---|
| 1 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ○本時で調べる内容を確認する。 「モーターを分解し、モーターの仕組みを知る」 ○分解の注意点やポイントを説明する。 | |
| 2 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○説明通りモーターの分解を行う。 ・分解して出てきたものを記録する。 ○自分（班）の予想と比べさせる。 ・予想と比較し、発表させる。 ○分解モーターを固定するための説明をする。 ・説明に沿って製作を行う。 ○分解モーターと磁石を用いて自由に実験を行わせ、分かったことを話し合わせる。 ・分解モーターで実験を行い、電流と磁界、力の関係を見いだす。(電流と磁界を入れ替えると回転も逆になること。磁石をギリギリまで近づけた方が回転数が上がることなど。) | 実物投影機で口だけでは伝わりづらい細かな指示や注意が伝えられる。 |
| 3 まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ○実験結果を班でまとめさせ、発表させる。 ・班で実験からわかったことをまとめ発表する。 ○生徒の考察を必要に応じて補足説明する。 | 意見の発表も実物投影機に映しながら説明することで全員に十分に説明することができる。 |

【情報活用のポイント】

| | |
|--|---|
| <p>実際の写真</p>  <p>投影機でモニターに映した写真</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ① 実物投影機で、全員に細かな指示や注意事項を伝えることができる。 ② 実物投影機で、全員に生徒の意見や考えを伝えることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>実物投影機の活用</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 写真を大きく印刷して掲示することが一般的だが、それでは理科室など特別教室の一番後ろの班が見えないことが多かった。そこで大型モニターに実物投影機で映すことでその点が解消された。また、リアルタイムで映せることで、分解の仕方を動きをもって説明できたことで生徒の理解も1回でスムーズに進む。 ② こちらもホワイトボードなどに書かせ黒板に掲示するのが一般的だが、同じく一番後ろの班が見えないなどの問題があった。それが解消された。また、生徒がマーカーを引いて説明したり、こちら動きをもって説明できたため、生徒の集中が高いものであった。 |
|--|---|

| | |
|--------------|---|
| <p>授業の実際</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○細かい作業にも関わらず2人1組で協力して全員が分解を安全に行っていた。 ○動きが出ることによって発表に工夫が見られたり、ホワイトボードに工夫が見られたりした。 ▲発表に気をとられ、中身が薄くなってしまっている班があった。 |
|--------------|---|

小学校外国語活動研究委員会

I 研究の概要

1 目的

小学校外国語活動における授業等の充実・改善を図る。

2 研究について

川越市教育委員会では、第二次川越市教育振興基本計画の施策Ⅰ「確かな学力と自立する力の育成」の中で、「グローバル化に対応する教育の推進」を施策の柱として位置づけ、英語指導助手（AET）配置事業の充実や小学校外国語活動の推進を図っている。

川越市小学校外国語活動研究委員会は、川越市小学校外国語教育の現状と課題を踏まえ、授業等の充実・改善が図れるよう調査・研究を進めてきた。平成29年度は、移行期間に実施する年間指導計画を検討し、「平成30年度移行期用川越市版年間指導計画案」を作成した。また、「書くこと」の指導を取り入れた外国語活動の授業研究会を実施した。平成30年度は、移行期間の2年目として、すべての学級担任が円滑に学習活動を進めるために、担任とAETによるティーム・ティーチングの進め方、高学年から導入された Small Talk について文例集の作成を行った。

3 本年度の活動案

- (1) 担任とAETによる外国語活動・外国語のティーム・ティーチング授業の進め方の作成
- (2) Small Talk 集の作成

4 研究実績

| 期日・場所 | 主な内容 |
|------------------------------|---|
| 平成30年 8月29日（水） 川越市立教育センター | 依頼書交付式 第1回小学校外国語活動研究委員会 ・研究委員会の活動内容について ・今後の予定 |
| 平成30年10月 9日（水） 川越市立教育センター | 第2回小学校外国語活動研究委員会 ・各担当による作成内容の検討 |
| 平成30年11月 7日（水） 川越市立教育センター | 第3回小学校外国語活動研究委員会 ・各担当による作成内容の検討 |
| 平成30年12月 4日（火） 川越市立教育センター | 第4回小学校外国語活動研究委員会 ・内容、校正の確認 |
| 平成31年 2月12日（火） 川越市立教育センター | 第5回小学校外国語活動研究委員会 ・冊子の読み合わせ |

学級担任用 Classroom English (中学年)

| HRT | AET |
|--|--|
| <p>1 Greetings</p> <p>Let's start English class. Please stand up! Good morning everyone. (Hello) How are you today? I'm good. (fine / happy / great) Thank you.</p> <p>Let's talk about today with Mr. (AET)!</p> | <p>Good morning everyone. (Hello) How are you today? I'm good. (fine / happy / great) Thank you.</p> <p>How is the weather today? It's sunny. What day is it today? It's Thursday. What date is it today? It's October 4th.</p> |
| <p>2 Song</p> <p>Let's sing a song. Stand up please.</p> | <p>Let's sing with a loud and clear voice.</p> |
| <p>3 Review</p> <p>O.K. Let's review with Mr. (AET).</p> | |
| <p>4 Today's Goal</p> <p>Today's goal is ~.</p> | |
| <p>5 Chants</p> <p>Let's chant. Please open your text book to page ~.</p> | <p>Let's chant together.</p> |
| <p>6 Let's Watch and Think</p> <p>Let's watch and think.</p> | <p>Please watch the video.</p> |
| <p>7 Activities</p> <p>Now, let's play (talk) ~ ! Mr. (AET) explains the rules. Listen carefully.</p> <p>Look here. We show you a demonstration. Are you ready? Ready, go!</p> | <p>(explains the rules.) Are you O.K? Yes or No? (demonstration)</p> |
| <p>8 Looking Back</p> <p>Write down what you think on the paper.</p> | |
| <p>9 Closing</p> <p>That's all for today. Please stand up! Let's say goodbye to Mr. (AET).</p> | <p>Goodbye everyone. See you next time.</p> |

支 援

1 Greetings

- HRT と児童のあいさつの後、AET があいさつを繰り返す。
- 「Let's greet 5 friends.」等と言って、友だちとコミュニケーション活動をさせてもよい。
- ジェスチャーや表情を豊かにするとよい。
- 担任は、英語学習者の一人（モデル）として、児童ともに英語を使い、学ぶ存在である。
- 慣れるまでは、日本語で支援してもよい。
- 児童の様子を見ながら無理のないように、少しずつ増やしていく。

2 Song

- 教師・AET も児童と一緒に歌う。
- 活動の合間に個人をほめたいときは、理由を言いながら褒めるとよい。（日本語でOK）

3 Review

- レビューの中身は、打ち合わせをしておけばAETに任せられる。

4 Today's Goal

- 「本時の課題」を示す。（板書）

5 Chants

- デジタル教科書の動画付チャンツが効果的である。その際は、ゆっくりモードも活用する。
- 一斉に発話させるときは 「One, two」 （さんはい）
- 物を配布するときには、 T: Here you are. S: Thank you.

6 Let's Watch and Think

- 映像を見ながら、英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり、話の概要を捉えたりさせる。
- 聞き取った内容について、質問する。

7 Activities

- 楽しくメインアクティビティーを行うために、ゲーム化するなどの工夫を行う。
- アクティビティーは、2つ入れてもよい。
- ルールは、AET に英語で説明してもらおう。理解しやすいように、児童の反応を見ながら質問させたりジェスチャーや日本語で補足説明するとよい。
- 初めてのアクティビティーは、AET と一緒にデモンストレーションを行ったり、児童をモデルにしてやり方を見せたりしたほうが理解しやすい。

8 Looking Back

- 本時の課題に沿った振り返りを行う。
- 本時の課題に向けて、頑張っていた児童を褒める。
- 1～3人の児童に感想を発表させる。

9 Closing

- 次時への期待をもたせて授業を終える。

学級担任用 Classroom English (高学年)

| HRT | AET |
|--|---|
| <p>1 Greetings</p> <p>Let's start English class. Please stand up! Good morning everyone. (Hello) How are you today? I'm good. (fine / happy / great) Thank you.</p> <p>Let's talk about today with Mr. (AET).</p> | <p>Good morning everyone. (Hello) How are you today? I'm good. (fine / happy / great) Thank you. How is the weather today? It's sunny. What day is it today? It's Thursday. What date is it today? It's October 4th.</p> |
| <p>2 Song</p> <p>Let's sing a song. Stand up please.</p> | <p>Let's sing with a loud and clear voice.</p> |
| <p>3 Review</p> <p>O.K. Let's review with Mr. (AET).</p> | |
| <p>4 Today's Goal</p> <p>Today's goal is ~.</p> | |
| <p>5 Small Talk</p> <p>We are going to make a small talk. Let's listen to the talk.</p> | <p>(talk to the small talk with HRT)</p> |
| <p>6 Chants</p> <p>Let's chant. Please open your text book to page ~.</p> | <p>Let's chant together.</p> |
| <p>7 Let's Watch and Think</p> <p>Let's watch and think.</p> | <p>Please watch the video.</p> |
| <p>8 Activities</p> <p>Now, let's play (talk) ~ ! Mr. (AET) explains the rules. Listen carefully.</p> <p>Look here. We show you a demonstration. Are you ready? Ready, go!</p> | <p>(explains the rules.) Are you O.K? Yes or No? (demonstration)</p> |
| <p>9 Read and Write</p> <p>Let's read and write.</p> | <p>Please listen to the sentence and look at the words in your textbook. Listen to the sentence again and read it. Copy one word from the wordbox.</p> |
| <p>10 Story time</p> <p>Let's have story time.</p> | <p>Listen to the story.</p> |
| <p>11 Looking Back</p> <p>Write down what you think on the paper.</p> | |
| <p>12 Closing</p> <p>That's all for today. Please stand up! Let's say goodbye to Mr. (AET).</p> | <p>Goodbye everyone. See you next time.</p> |

支 援

1 Greetings

- HRTと児童のあいさつの後、AETがあいさつを繰り返す。
- 「Let's greet 5 friends.」等と言って、友だちとコミュニケーション活動をさせてもよい。
- ジェスチャーや表情を豊かにするとよい。
- 担任は、英語学習者の一人（モデル）として、児童ともに英語を使い、学ぶ存在である。
- 慣れるまでは、日本語で支援してもよい。
- 児童の様子を見ながら無理のないように、少しずつ増やしていく。

2 Song

- 教師・AETも児童と一緒に歌う。
- 活動の合間に個人をほめたいときは、理由を言いながら褒めるとよい。（日本語でOK）

3 Review

- レビューの中身は、打ち合わせをしておけばAETに任せられる。

4 Today's Goal

- 「本時の課題」を示す。（板書）

5 Small Talk

- 5年生は、指導者（AET・HRT）の話聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に行う。
- 繰り返し使用できるようにして、定着を図る。
- 対話を続けるための基本的な表現の定着を図る。

6 Chants

- デジタル教科書の動画付チャンツが効果的である。その際は、ゆっくりモードも活用する。
- 一斉に発話させるときは「One, two」（さんはい）
- 物を配布するときには、T: Here you are. S: Thank you.

7 Let's Watch and Think

- 映像を見ながら、英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり、話の概要を捉えたりさせる。
- 聞き取った内容について、質問する。

8 Activities

- 楽しくメインアクティビティーを行うために、ゲーム化するなどの工夫を行う。
- アクティビティーは、2つ入れてもよい。
- ルールは、AETに英語で説明してもらい、理解しやすいように、児童の反応を見ながら質問させたりジェスチャーや日本語で補足説明するとよい。
- 初めてのアクティビティーは、AETと一緒にデモンストレーションを行ったり、児童をモデルにしてやり方を見せたりしたほうが理解しやすい。

9 Read and Write

- 単元を通じて、音声で十分に慣れ親しんだ英文について、聞いたり、話したり、書かせたりする。
- 目的意識を持たせ、内容を推測しながら読ませたり、必要性を感じさせながら書かせる。
- 単元を通じて、毎時間少しずつ「書くこと」の言語活動に取り組みさせる。
- 日本語と外国語の違いに気付き、語順を意識し、語と語の区切りに注意して書かせる。

10 Story time

- 英語の音声を繰り返し聞かせる。
- 絵を手掛かりに、推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりさせる。
- 文字と発音の関係に気付かせる。

11 Looking Back

- 本時の課題に沿った振り返りを行う。
- 本時の課題に向けて、頑張っていた児童を褒める。1～3人の児童に感想を発表させる。

12 Closing

- 次時への期待をもたせて授業を終える。

積極的に教師が使いたい Classroom English 集

子ども達をほめよう

That's right.

Good! / Great! / Well done!

Good idea!

You did a good job!

Congratulations!

You speak very clear.

Let's give him a big hand.

Thank you for your help.

正解です

よくできました

良いアイデアです

がんばりましたね

おめでとう

とてもはっきり言えています

彼に拍手しましょう

手伝ってくれてありがとう

子ども達をはげまそう

Don't give up.

Don't worry.

Close! / Almost!

Try(Say) it again. / One more time.

You can do it.

That's good!

Relax. / Take it easy.

Take your time. / Don't rush.

あきらめないで

気にしないで

惜しいね

もう一度やっごらん

君ならできるよ

それでいいよ

落ち着いて

焦らないで

子ども達に指示しよう

Make groups (of 4).

Move your desks back.

Make pairs.

Line up here.

Listen carefully.

Please look here.

Sit up straight.

Please be quiet!

Any volunteers?

Raise your hand(s).

Put your hands down.

Write your name here.

Go back to your seat.

(4人) グループを作りなさい

机をもどしなさい

ペアを作りなさい

並びなさい

よく聞きなさい

こちらを見なさい

姿勢よく座りなさい

静かにしなさい

誰か、やってくれる人

手を挙げて

手を下ろして

名前を書きなさい

席にもどきなさい

積極的に子ども達に使わせたい表現集

Small Talk で使ってみよう

Nice talking to you.

話せてうれしかったよ

I see.

なるほど

Really ?

本当？

Nice! That sounds good.

いいね

I can.

自分もできるよ

Good for you.

良かったね

自分の気持ちを表現しよう

Let's be quiet.

静かにしようよ

Let's try it again.

もう一度やってみよう

I'm not sure.

わかりません

I got it.

わかった！

友達に声をかけよう

Thank you.

ありがとう

Here you are.

はい、どうぞ

I'm OK. No problem.

大丈夫です

Go ahead.

どうぞ

Don't worry.

気にしないで

Game の中で使ってみよう

It's my turn.

私の番です

Almost. / Close.

おいしい！

Cheer up!

がんばれ

AET に話しかけてみよう

How do you say it in
English / Japanese?

日本語で / 英語でなんて言いますか

Speak slowly.

ゆっくり言ってください

Once more.

もう一度言って

Small Talk (スモール・トーク)

Small Talk とは、高学年新教材で設定されている活動である。2 時間に 1 回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることである。また、5 年生は指導者の話を聞くことを中心に、6 年生はペアで伝え合うことを中心に行う。

1 Small Talk を行う意図

Small Talk を行う主な目的は、(1) 既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること、(2) 対話の続け方を指導すること、の 2 点である。以下、それぞれの詳細について説明する。

(1) 既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図る

これまでの外国語活動においては、児童が単元の新出言語材料に慣れ親しむことに重点が置かれていた一方で、複数単元を通じた系統性が弱く、言語材料の使用が単元ごとで完結している場合が少なくなかった。新学習指導要領に基づく外国語科の指導においては、言語材料の定着にも重点が置かれている。したがって、児童が、現在学習している単元及び当該単元より前の単元で学習した言語材料を繰り返し使用できる機会を保障し、当該言語材料の一層の定着を目指すことが求められる。

(2) 対話を続けるための基本的な表現の定着を図る

「話すこと」によるコミュニケーションを行う際に欠かせないことが「対話を続けるための基本的な表現」である。我々が母語で対話をする際にも、相手の話した言葉を繰り返して話し手が伝えたい内容を確認したり、相手の話したことに何らかの反応を示したりすることで対話は続くものである。小学校高学年では、「対話を続けるための基本的な表現」として、例えば〈表 1〉の 6 点を指導することが考えられる。

〈表 1〉対話を続けるための基本的な表現例

| | |
|-------|---|
| 対話の開始 | 対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I' m good. How are you? など |
| 繰り返し | 相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手: I went to Tokyo. 自分: (You went to) Tokyo. など |
| 一言感想 | 相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That' s good. / That' s nice. / Really? / That sounds good. など |
| 確かめ | 相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと Pardon? / Once more, please. など |
| さらに質問 | 相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること 相手: I like fruits. 自分: What fruits do you like? など |
| 対話の終了 | 対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. /You, too. など |

2 指導例

(1) 導入

指導者が実際に訪れた場所やその感想等を伝え、児童とやり取りしながら話題を導入する。指導者と児童が表現内容の授受を楽しみながら行う。

(2) 1 回目の対話の後で指導すること

①既習表現を想起できるようにする

児童同士が1回目の対話を行った後、児童が伝えたくても英語で表現できなかったことはないかを確認する。その際、児童が前時までに学習した言語材料で表現できる内容について質問した場合、指導者はすぐに答えるのではなく、学級全体に問う。それが、質問者以外の児童にも既習表現を想起させ、2回目の対話での使用を促す。未習の言語材料については、平易なものは指導者が教え、難易度の高いものは日本語を用いることとする。

②自身の対話を振り返るようにする

Small Talk の導入期には、対話後「相手の言ったことを繰り返して言えたか」「一言感想を言うことができたか」などを確認し、「対話を続けるための基本的な表現」の使用に意識を向けさせることも考えられる。また、児童が単語のみで答えたり不完全な英文で対話したりしている場合、自然なやり取りを続けながら、正しい英文で応答し、児童の気付きを促す。

*引用

小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック 平成29年6月30日発行

We Can!1 Small Talk

Unit1 Hello, everyone. 【アルファベット・自己紹介】

T1: Hello, Mr. _____ ! How are you?

T2: Hello, Mr. _____ .
I'm fine, thank you, and you?

T1: I'm fine, thank you.
This is a beautiful color! I like blue.
How about you?
What color do you like?

T2: Oh, me too. I like blue.
I like tennis, so I want a new blue tennis racket.
Do you like tennis?

T1: No, I don't.
I don't like tennis.
I like baseball. I want a new ball.

※下線部は、学級担任、AET
によって変更してよい。

Unit2 When is your birthday? 【行事・誕生日】

T1: Hello _____ .
When is your birthday?

T2: Hello _____ .
My birthday is October 31st.

T1: Wow! That day is Halloween! That's nice.

T2: Yes, thank you.
When is your birthday?

T1: My birthday is May 3rd.
It's during Golden Week!

T2: That's great!



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! Small Talk

Unit3 What do you have on Monday? 【学校生活・教科・職業】

T : Hello, everyone.
Look. This is my backpack.
It's heavy.
What's inside it?
What do I have in my backpack? Can you guess?

ランドセルの中身をイメージし、児童とやりとりをする。

S : A pencil case?

T : A pencil case? That's right!
I have a white pencil case.

T : What do I have in my backpack?

S : A textbook?

T : A textbook? Yes, I have many textbooks.
One, two, three, four, and five.
Five textbooks! They are heavy.

Unit4 What time do you get up? 【一日の生活】

T : Hello. What time do you get up?

T : I always get up at 6:00.
How about you?

T : I usually get up at 6:00.
I sometimes get up at 6:30.

T : I see. What time do you go to bed?

T : I always go to bed at 9:00.

T : Oh, really? 9 o'clock? I never go to bed at 9:00!

1日の生活で、身近な時間を聞く。

Alwaysやusuallyなどの言葉も使って会話をする。

※下線部は、学級担任、AETによって変更してよい。



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can!1 Small Talk

Unit5 She can run fast. He can jump high. 【できること】

T1: Hello _____.

T2: Hello _____.

T1: Look! Look at this.

T2: A piano!

T1: Yes, that's right. It's a piano.

I can play the piano very well, but I can't play soccer.

Can you play the piano well?

※下線部は、学級担任、AET
によって変更してよい。

Unit6 I want to go to Italy. 【行ってみたい国や地域】

T : Hello, everyone.

I want to go to Yamanashi.

Mt. Fuji is the tallest mountain in Japan.

There are five lakes at the bottom.

Shojiko, Motosuko, Saiko, Kawaguchiko and Yamanakako.

You can eat Hotou and Shingenmochi. They are delicious.

Many people come for sightseeing.

Do you want to go to Yamanashi?

行ってみたいところ、行ったことのある国について紹介する。

Unit7 Where is the treasure? 【位置と場所】

T1: Hmm... I lost my pencil...

T2: Hi, what are you doing now?

T1: I'm looking for my pencil.

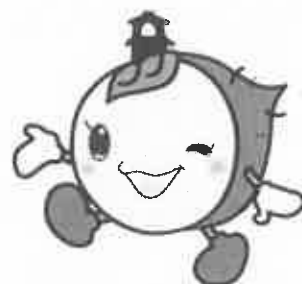
It's important to me. Where is my treasure?

T2: Oh, I know! It's under the desk.

T1: Oh, I see it! Thank you very much.

T2: You're welcome.

自分の鉛筆を探している場面で、会話する。



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can!1 Small Talk

Unit8 What would you like? 【料理と値段】

T1: waiter T2: customer

T1: Hello. What would you like?

T2: Hello. I would like tea, corn soup, salad and bread.

T1: Great, would you like the corn soup hot or cold?

T2: Hot please. How much is it?

T1: The tea is 100 yen. The corn soup is 200 yen.

The salad is 300 yen.

The bread is 1,000 yen.

T2: Wow! The bread is expensive!

レストランで、店員・お客様として会話する。



川越市マスコットキャラクター ときも

Unit9 Who is your hero? 【あこがれの人】

T : Hello, everyone.

My hero is Ultraman.

He is a nice hero.

He can fly fast. He can run fast, too.

He is strong. But he can only fight for three minutes on the earth.

He is kind to everyone. He is my hero.

アニメのキャラクターやスポーツ選手について話す。



川越市マスコットキャラクター ときも

Unit1 This is ME! 【自己紹介】

①好きなスポーツについて

A : Hello. How are you?

B : I'm good, and you?

A : I'm fine. What sports do you like?

B : I like soccer.

A : Oh, you like soccer? That's nice. Why?

B : It's fun. How about you? What sports do you like?

A : I like table tennis. I can play table tennis.

B : Great!

②自己紹介

A : Hello. I'm Saitama Taro.
What is your name?

B : My name is (I'm) Kawagoe Jiro.

A : When is your birthday?

B : My birthday is October 2nd.

A : What animals do you like?

B : I like dogs.

A : Oh, you like dogs?
Me too. What is your favorite dog?

B : I like Shibakens.
How about you?

A : I like Poodles.

A, Bの役割分担は、
「担任とAET」「担任と児童」
「AETと児童」「児童と児童」
などの様々な形で行ってよい

※下線部は、自由に変えてよい

We Can! 2 Small Talk

Unit2 Welcome to Japan. 【日本の文化】

①自分の行ってみたい国

A : Hello. How are you?

B : I'm good, and you?

A : I'm fine. Golden Week is coming soon.
Where do you want to go?

B : I want to go to Italy.

A : You want to go to Italy? That's good. Why?

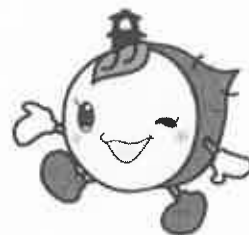
B : I like pizza. How about you?

A : I want to go to America.

B : You want to go to America? Wonderful! Why?

A : I want to go to Disney World.

※下線部は、自由に変えてよい



川越市マスコットキャラクター ときも

②日本の好きな都道府県について

A : Welcome to Japan. What is your favorite place in Japan?

B : My favorite place is Osaka.

A : Oh, you like Osaka. Why?

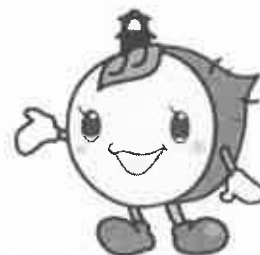
B : I like the amusement park U.S.J.
It's very fun. How about you?

A : I like Hokkaido.

B : Why?

A : I like Asahiya Zoo. They have cute animals.
You can enjoy Asahiya Zoo.

B : Great. I want to go there.



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! 2 Small Talk

Unit3 He is famous. She is great. 【人物紹介】

①自分の好きなものについて

A : Hello. How are you?

※下線部は、自由に変えてよい

B : I'm fine, and you?

A : I'm good.

B : Ok! Do you like baseball?

A : Yes. I want a new bat. What do you want?

B : I play the guitar. I want a new guitar.

A : You want a new guitar? That's nice!

②Who am I クイズ

A : Let's play "Who am I?" quiz! O.K?

B : Yes, let's.

A : I'm from Sendai, Miyagi.

I'm very popular in the world.

I like Pooh-san.

I'm good at skating.

Who am I? (子どもに発問する)

B : Oh, Yuzuru Hanyu?

A : Yes! That's right!

Do you know Yuzuru Hanyu?

B : Yes, he can skate well.

We Can! 2 Small Talk

Unit4 What time do you get up? 【自分たちの町・地域】

①川越市の中でおすすめの場所

A : Hello. How are you?

※下線部は、自由に変えてよい

B : I'm good, and you?

A : I'm great. Let's talk about Kawagoe.

B : Ok!

A : I like Kawagoesuijoko.

In summer you can enjoy swimming. (場所によって変える)

It's fun. How about you?

B : I like Kitain.

In spring you can see sakura. (場所によって変える)

It's very beautiful.

A : That's nice.

②埼玉県の中でおすすめの場所

A : Hello. How are you?

川越祭りのポスター等を活用しながら行う。

B : I'm good, and you?

A : I'm fine. I like my town, Kawagoe.

B : You like Kawagoe? Why?

A : I like the Kawagoe Festival.

You can see dashi. It's very exciting.

How about you?

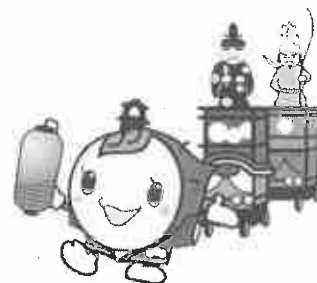
B : I like Tokorozawa. Do you know Tokorozawa?

A : Yes, I do. Why?

B : I like baseball. I'm a Lions fan. You can watch baseball games.

A : That's nice!

西武ライオンズの写真等を活用しながら行う。



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! 2 Small Talk

Unit5 My Summer Vacation. 【夏休みの思い出】

①夏休みに行った場所について

A : Hello. How was your summer vacation?

B : It was good!

I went to the sea. I enjoyed swimming.

A : You went to the sea? Nice!

B : I ate watermelon. It was delicious.

How about you?

A : I went to my grandparents' house in Fukushima.

I enjoyed fishing with my grandparents.

B : Oh, really? Good summer vacation!

How about you? (児童へ発問する)

※下線部は、自由に変えてよい



川越市マスコットキャラクター ときも

②夏休みの楽しかった思い出について (Activityに向けて)

A : Hello. How was your summer vacation?

B : It was good.

I went to an amusement park.

I enjoyed riding the roller coaster.

It was exciting.

Do you like riding roller coasters?

A : Yes. I like riding roller coasters.

B : Wonderful!

Let's go together next summer vacation.

Let's enjoy riding roller coasters!

A : Nice idea!

We Can! 2 Small Talk

Unit6 What do you want to watch ? 【オリンピック・パラリンピック】

①Let's Play 1 に向けて、得意なスポーツについて

A : Hello. Are you good at sports, B ?

B : Yes, I am.

※下線部は、自由に変えてよい

A : What sport are you good at ?

B : I'm good at tennis.

A : Oh, you are a good tennis player!

B : How about you, A ?

A : I'm good at jump rope.

B : Nice!

You are a good jump roper!

②好きなスポーツ選手について

A : Hello. Who is your favorite athlete, B ?

B : I like Mao Asada.

She is a figure skater.

A : Why do you like her?

B : Because she is very cute.

How about you, A ?

A : I like Bolt.

He is a runner.

B : Why do you like him?

A : Because he can run fast.



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! 2 Small Talk

Unit7 My best Memory 【小学校生活・思い出】

①冬休みの楽しかった思い出について

A : Hello. How are you?

※下線部は、自由に変えてよい

B : Hello. I'm fine, thank you. And you?

A : I'm good. I enjoyed eating osechi during winter vacation.

B : You enjoyed eating osechi? That's great!

A : Thank you. How about you?

B : I enjoyed having a Christmas party. It was exciting.

A : That's good.

②小学校生活での楽しかった思い出について

A : Hello. How are you?

B : Hello. I'm fine, thank you. And you?

A : I'm good.

What is your best memory?

B : I enjoyed going to Nikko.

A : You enjoyed going to Nikko? Wow, great!

What did you enjoy?

S1: I enjoyed walking in Senjogahara. It was a beautiful view.

How about you?

S2: My best memory is the sports festival.

S1: You enjoyed the sports festival? That's great!

S2: Thank you.



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! 2 Small Talk

Unit8 What do you want to be ? 【将来の夢・職業】

①行きたい国について

A : Hi.

B : Hi. How are you?

A : I'm fine, thank you. And you?

B : I'm fine. Where do you want to go?

A : I want to go to Hawaii.

B : You want to go to Hawaii? That's great.
Why?

A : I like swimming. And I want to see the beautiful sea.
How about you?

B : I want to go to India.
I want to eat curry and rice. It's delicious.

②将来になりたい職業について

A : Hi.

B : Hi. How are you?

A : I'm fine, thank you. And you?

B : I'm fine.
What do you want to be?

A : I want to be a soccer player. I like soccer.
How about you?

B : That's good. You play soccer well.
I want to be a baker. I like cooking.

A : That's great!

※下線部は、自由に変えてよい



川越市マスコットキャラクター ときも

We Can! 2 Small Talk

Unit9 Junior High School Life 【中学校生活・部活動】

①Let's Play に向けて、入りたい部活動について

A : What club do you want to join?

※下線部は、自由に変えてよい

B : Well... I want to join the table tennis club.

A : Oh, table tennis? Do you play table tennis?

B : Yes, I do. How about you, A?

A : Well... I want to join the brass band club.

B : Oh, brass band?
Do you like music?

A : Yes, I do. I want to play the trumpet.

B : That's nice!

②Let's Play に向けて、楽しみな行事について

A : What event do you want to enjoy?

B : Well... I want to enjoy the music festival.

A : Oh, the music festival? Why?

B : I like music.

A : Wow! That's nice.

B : How about you, A?

A : Well... I want to enjoy Rinkangakko.

B : Oh, Rinkangakko? Why?

A : I like campfires and cooking.

B : Wow! Great!



川越市マスコットキャラクター ときも

Ⅲ これまでの取組

小学校外国語活動研究委員会のこれまでの取組

1 平成20年度

- ・平成20年3月に新学習指導要領が告示され、H23年度から第5・6学年で外国語活動を実施することになった。
- ・川越市としては、H21年度の移行期間から、第5・6学年で総合的な学習の時間のうち週1時間を外国語活動（英語活動）に充てて年間35時間実施することとした。
- ・平成20年度、本委員会を立ち上げ、文部科学省が作成した「英語ノート」を市の共通教材として活用し、担任とAETがT・Tの授業を実施できるように、年間35時間、2学年70時間分の「英語ノート」の年間指導計画と指導案を作成し、市内全小学校だけでなく、小・中の連携のため市内全中学校にも配布した。
- ・小学校には、電子データも送付した。

2 平成21年度

- ・「英語ノート1・2」を活用した完成版を作成し、冊子としてまとめ各小・中学校へ配布した。
- ・「英語ノートと各学校にある教材教具を活用すれば、英語が堪能でない教員でも年間35時間の授業が展開できる」ことをねらいとし、1単位時間の指導案綴りは活動内容や使用する言語材料、教材教具などを見やすく配置し、学級担任（HRT）と英語指導助手（AET）の役割分担について可能な限り具体的なものとした。
- ・小学校には、電子データも送付した。

3 平成22年度

- ・英語活動重点評価規準を作成し、全小学校へ配布し、活用を図った。
- ・平成23年度英語活動意識調査の実施に向け、予備調査を行い、調査内容の検討をした。

4 平成23年度

- ・小中連携の英語教育のあり方を作成した。
- ・2年間の移行期間における取組に対する小中の連携を深め、意識調査を実施することにより外国語活動の成果と課題を明らかにした。
- ・調査対象は、小中の児童生徒（抽出校）とした。
- ・全小・中学校に英語活動意識調査を配布し、各校でも取り組めるようにした。

5 平成24年度

- ・小中連携の外国語教育のあり方を作成した。
- ・小学校の教材が「英語ノート」から「Hi, friends!」に変わったことを受け、指導案綴り及び小中連携の活動例、出前授業の指導案綴りについて研究を行った。
- ・市内全小・中学校に作成した冊子を配布し、活用を図った。

- 6 平成25年度
 - ・平成24年度の研究を引き継ぎ、「Hi, friends!」を活用した外国語活動の指導について研究し、指導案綴りを作成した。
 - ・平成24年度の作成した指導案を英訳し、英語指導助手との共同授業で活用できるようにした。
 - ・校種間の英語教育に対する理解を図るため、各市立学校に作成した冊子を配布し、活用を図った。

- 7 平成26年度
 - ・外国語活動の充実・推進を図るため外国語活動教材「Hi, friends!」の指導案例を提示した。
 - ・英語指導助手とのチームティーチングを充実させるため、昨年度作成した指導案を英語に直したものも作成した。(詳細は「小学校外国語活動研究委員会研究冊子」に掲載)
 - ・市内全小・中学校に作成した冊子を配布し、活用を図った。

- 8 平成27年度
 - ・平成26年度作成した「Hi, friends!」指導案の残りの部分を完成させた。英語版を作成。
 - ・「Hi, friends!」に準じたワークシート集を作成した。
 - ・英語指導助手とのチームティーチングを充実させる、または英語指導助手がいない場合の単独の授業を進める際の授業中の英語の指示等を作成した。

- 9 平成28年度
 - ・「Hi, friends!」をもとに、「食べ物」「職業」「教科」「スポーツ」等のトピックから選んで使える活動集を作成した。
 - ・教育センターのウェブキャビネットから、必要に応じてダウンロードして使用できるようにした。

- 10 平成29年度
 - ・新学習指導要領に対応した小学校外国語活動川越市版移行期用年間指導計画例を作成した。
 - ・外国語活動研究委員会による新学習指導要領の指導内容を取り入れた授業研究協議会を行った。